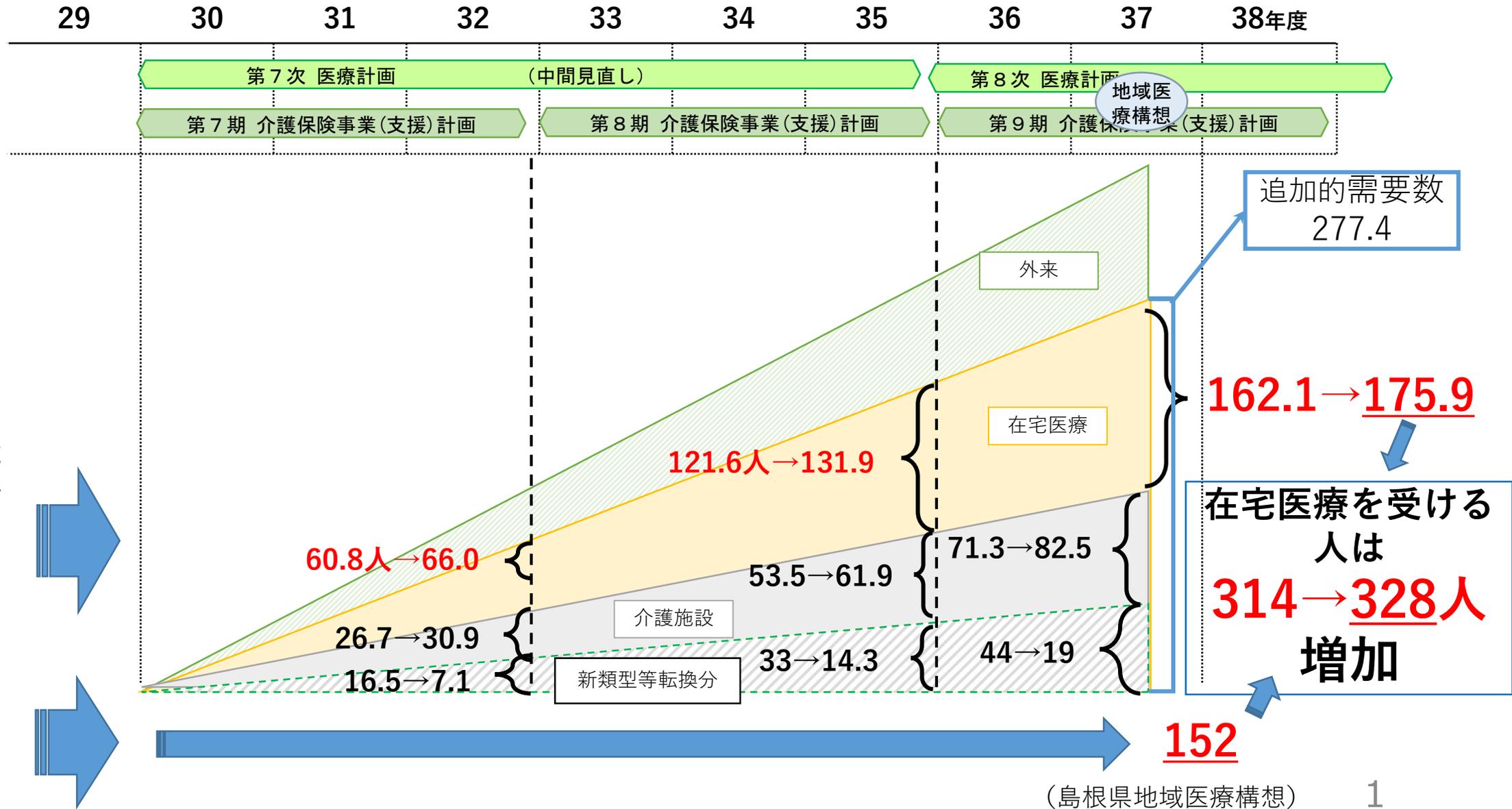


出雲圏域における在宅医療等の増加見込み (人/日)

【資料4】



在宅医療供給量調査結果（H29.6）

- 診療所における2025年の訪問診療の供給量は減少する。
- 斐川、平田、湖陵、多伎は大きく減少する。
- 7割の医師が後継者がいないと答えており、長期的に訪問診療の供給量は減少すると考えられる。

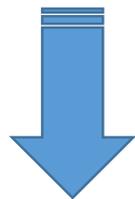
地区名	送付数	回答診療所数	回答率	回答医師数	年	平均年齢	訪問診療実施機関数	往診件数	訪問診療件数	受け持つ在宅療養患者数	夜間往診可能な診療所	後継者がいる医師数
出雲	69	45	65.2%	49	2017	57.6	34	309	1428	925	22	15
					2025	65.6		319	1417	852	16	
湖陵	4	3	75.0%	3	2017	67	3	7	87	42	3	1
					2025	75		10	15	10	1	
佐田	3	2	66.7%	2	2017	70.1	2	14	61	11	1	0
					2025	78.1		16	40	27	1	
大社	7	5	71.4%	6	2017	60.5	5	22	40	45	2	3
					2025	68.5		40	70	90	2	
多岐	1	1	100.0%	1	2017	60	1	5	140	58	1	0
					2025	68		3	70	30	1	
斐川	9	8	88.9%	9	2017	59.4	5	14	18	24	1	3
					2025	67.4		1	1	1	1	
平田	17	12	70.6%	12	2017	65.2	9	46	279	227	5	1
					2025	73.2		9	65	50	2	
全体	110	76	69.1%	82	2017	59.8	59	417	2053	1332	35	23
					2025	67.8		398	1678	1060	24	
増減								▲19	▲375	▲272	▲9	

訪問診療の需要は増えるが供給量は減少する

需要

現状 訪問診療レセプトより
(地域医療構想時点：2013)

1,291人 (1日当たり)



314→**328**人の**増加**

2025年 (H37年) 推計値

1,605→**1,619**人 (1日当たり)
自然増加分：152人
追加需要分：162人→175.9人

供給

医療機能調査 (診療所) より (2017)

訪問診療件数
1,332人 (1日当たり)

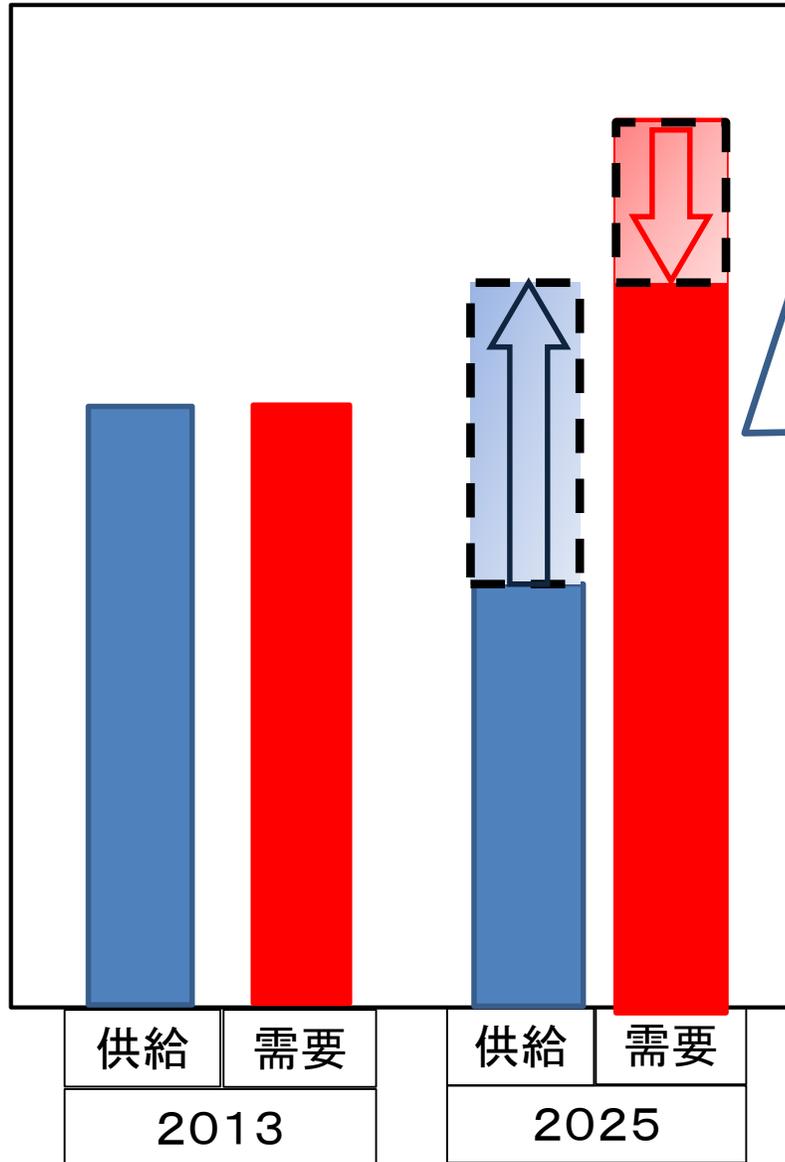


272人の**減少**

2025年 (H37年) 予定数

訪問診療件数
1,060人 (1日当たり)

島県在宅医療の供給不足への対応(案)



供給増

④訪問診療を行う(高齢)医師を維持・増加

⑤在宅療養(後方)支援病院と在宅医の連携拡大

⑥病院からの訪問診療の増加

⑦訪問看護・介護と在宅医の連携(訪問頻度の減)

移送・集住

②移送サービスによる通院支援(外来対応)

③高齢者住宅への要介護高齢者の(季節的な)集住

需要減

①住民への啓発と協力(健康増進・互助)により中重度者の医療・介護へ注力

⇒各圏域でワーキング会議等を設置(または既存会議を活用)して検討
 ⇒しまね型医療提供体制構築事業(圏域課題解決推進事業)の活用
 ⇒圏域を越えた連携や県全体での対応